

## ガルーダ・インドネシア航空

### 訪日観光促進活動に関する共同記者会見およびサイクリングツアーを山梨県と共同開催 TYOGA-5-APR/13

ガルーダ・インドネシア航空会社(本社:ジャカルタ、インドネシア 社長兼最高経営責任者:エミルシャ・サタル)は、2013年4月14日、山梨県笛吹川フルーツ公園内にて、山梨県と共同記者会見およびサイクリングツアーを山梨県と共同開催しました。また、同日夜、甲府富士屋ホテルにて、山梨県知事主催の晩餐会が行われました。サイクリングツアーは、翌15日にも南アルプスウェスタンラインにて行われ、インドネシア人サイクリストは、美しい景色を堪能していました。

記者会見では、山梨県観光部部長 堀内久雄氏より「成長を続けるインドネシアからの観光客を増やすため、今年1月にガルーダ・インドネシア航空会社の本社を訪問したのをきっかけに、双方向の観光客を増やす取組みが開始しました。」とここに至った経緯の説明がありました。また、10月には山梨県知事によるトップセールスを行う予定であることが発表され、「これらの取組みによりインドネシアから多くの方が山梨を訪れ、インドネシアと日本の交流がさらに深まることを期待しています。」とコメントされました。

ガルーダ・インドネシア航空 社長兼最高経営責任者エミルシャ・サタルは、「インドネシアは経済成長に伴い海外旅行者が増加しており、その中でも日本は人気の旅行先となっています。今回サイクリングツアーを綺麗な景色・自然がある山梨県と共同開催でき光栄に思います。今後は、サイクリング以外にもゴルフや食事をテーマにしたツアーも検討していく予定です。また、インドネシアからの訪日観光だけではなく、山梨県の方にもより多くインドネシアを訪れて頂きたいと思います。」と述べました。



2013年4月14日 山梨県笛吹川フルーツ公園果物広場にて  
写真左から

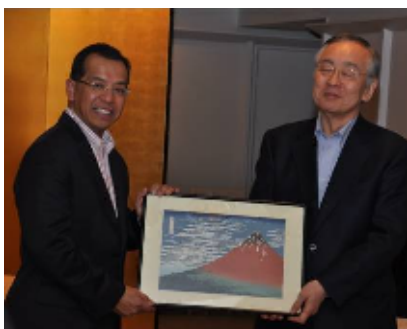
- ・駐日インドネシア共和国 ジョニー・シナガ公使
- ・ガルーダ・インドネシア航空日本・韓国・中国・アメリカ地区総代表  
リスナンディ・サエブラハマン
- ・ガルーダ・インドネシア航空 社長兼最高経営責任者  
エミルシャ・サタル
- ・山梨県観光部 部長 堀内 久雄氏
- ・山梨県観光部 理事 青嶋 洋和氏
- ・やまなし観光推進機構 専務理事 窪田 克一氏

2013年4月14日 山梨県笛吹川フルーツ公園にて

# PRESS RELEASE

ガルーダ・インドネシア航空 プレスリリース

同日夜に開催された山梨県知事主催の晩餐会では、横内正明県知事より、「サイクリングツアーの旅行先として、山梨県を選んでいただいたことに深く感謝申し上げます。今回のサイクリングツアーを皮切りとして、今後、インドネシアと日本との交流が深まることを祈念します。」との歓迎のご挨拶をいただきました。ガルーダ・インドネシア航空 社長兼最高経営責任者エミルシャ・サタルの御礼の言葉に続き、記念品の交換が行われ、山梨県側からは、富嶽三十六景「凱風快晴」のレプリカが、ガルーダ・インドネシア航空会社からはオリジナル自転車と飛行機模型が贈呈されました。晩餐会には、駐日インドネシア共和国 ジョニー・シナガ公使をはじめ、駐インドネシア日本国鹿取克章大使ご夫妻もご出席されました。会場では、山梨特産「甲州ワイン」のテイastingも行われ、日本とインドネシアとの交流について、終始和やかな雰囲気の中、会話が絶えませんでした。



2013年4月14日山梨県知事主催晩餐会(甲府富士屋ホテル)にて

写真左から

ガルーダ・インドネシア航空 社長兼最高経営責任者 エミルシャ・サタル

山梨県知事 横内 正明氏

4月14日・15日に実施されたサイクリングツアーには、駐インドネシア日本国 鹿取克章大使をはじめとする、40名がインドネシア側から参加。14日は、桃の花を含む、美しい花々を眺めながら、15日は、南アルプスの自然を眺めながら、両日ともおよそ50kmのサイクリングを満喫した様子でした。

今後ともガルーダ・インドネシア航空は、「Two way tourism」促進の為、インドネシア-日本双方での観光支援活動を積極的に行ってまいります。2013年のインバウンドに関する活動については、添付資料をご参照ください。

## ガルーダ・インドネシア航空会社について:

インドネシア共和国を代表する航空会社。会社設立1949年。1962年3月より日本への運航を開始し、2012年に日本就航50周年を迎えた。現在、成田・羽田・関空よりインドネシアへ週28便、直行便を運航中。2013年4月現在、保有機体数は106機、平均機体年齢は5.8年。2012年の日本路線の定時運航率93.3%。インドネシアの文化や伝統をベースとした、五感で感じるインドネシア「ガルーダ・インドネシア・エクスペリエンス」がサービスコンセプト。東京(成田)・大阪発便では、機内にて到着ビザの発給と入国審査が完了する「機内入国審査プログラム」を実施中。さらに日本発着便には日本人客室乗務員が乗務し、快適な空の旅の提供に努めている。2012年スカイトラックス社(英国の格付け会社)より「The World's Best Regional Airline」「The Best Regional Airline in Asia」受賞。ロイモーガン(オーストラリア)より「ベスト・インターナショナル・エアライン(1月・2月・7月)」を受賞。2014年のスカイチーム正式加盟及びスカイトラックスの5スター認定獲得をめざす。